

皆が新しい環境に慣れ自分のことだけでなく周りの友達のことが気になってきています。異年齢の友達とのかかわりもあちらこちらで見られるようになってきています。

4月30日（水）ミニトマトの苗植えを行いました。年長児と一緒にいった年少組。土の入れ方、苗の植え方を教えていただきました。



「つちはここまでいれるんだよ」年長組のみんなが優しく教えてくれました。



「おおきくなーれ」植え終わると自然に声がかかりました。早く食べられることを楽しみにしていました。



さすがうさぎ組です。自分達で頑張って植えることができました。

1日（木）～16日（金）好きな遊びの中でもたくさんの異年齢交流がありました。



「のりですか？」うさぎ組電車の運転手さんに声を掛けられ乗車中の年少組。トイレ駅といちご組駅を往復しています。



「アイドルショーをやっています。きてください」年中組さんに誘われてショーを見学する年少組。「いっしょにおどろう」と声を掛けられ最後は一緒にダンスを楽しみました。



「だんごむしみつけたよ」「どこにいたの？とりたい」「いるところしってるからあんないするよ」虫捕り名人の年長児に案内されてダンゴムシ探しを行う年少児。小さな虫たちにも興味関心が始まっています。



年少（いちご組）



年中（うさぎ組）



年長（ほし組）



畑でとった果実を利用してジュース作りをした経験から簡単に色が出るもの（クレープ紙）を利用しての色水遊びを楽しんでいます。混ざった時にできる色の変化やボトルを振った時にできる泡を炭酸に見立てるなど様々な気づきがありました。

「きょうはめろんじゅーをつくったよ。うちにもってかえる。おみやげなんだ」と自分で作ったものを大切に持ち帰っています。お家の方がびっくりしたり喜んでくださることも作る意欲の1つとなっているようです。



チョコバナナ、カップケーキ、りんご飴づくりが始まっています。「やたいやさんみたいだね。やりたいね」と言う声から、帰りの会ではみんながイメージする屋台やさん実現に向けて話し合いがもたれました。

アイドルショーとカップケーキやさんがコラボしチョコバナナやさんとりんご飴屋さんは屋台やさんとして異年齢児を招待していくことになっているようです。

遊びを共有しながら自分のしたいことに夢中になって取り組んでいます。



戸外では、泥団子作りに夢中です。光る泥団子をつくりたいという思いから挑戦中です。

中にはお団子を固くできた自信から自分の好きな遊びに没頭し遊ぶ姿も見られます。どの砂をかけると良いのか。どのくらいの水を土にかけ泥を作ったらよいのかなど何度も挑戦する中で固いお団子が出来上がっているようです。「みがいていろをつけたらかんせいだよ。できあがったらみせるね」と出来上がりを楽しみにしているようです。